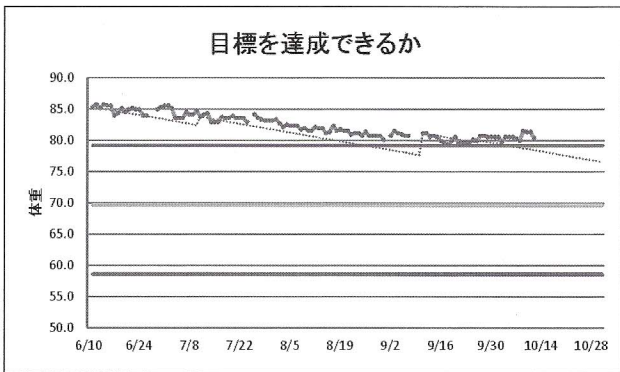


# 酒とパソコンと少々ミルク

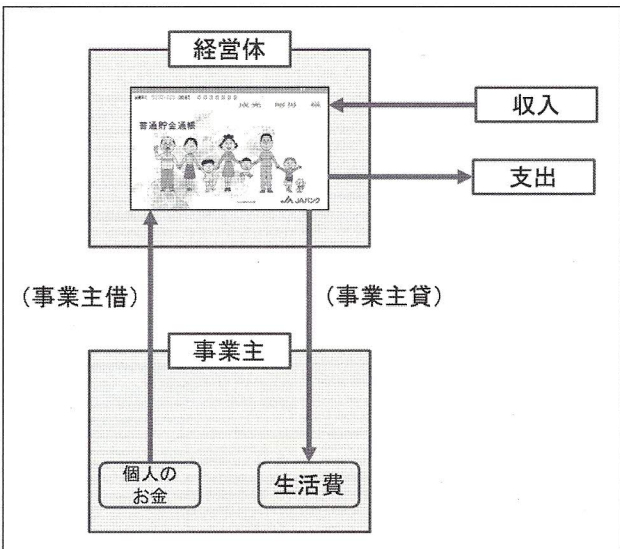
## 事業主勘定

あと一步で、目標範囲に突入するはずだった9月17日に風邪を引き、いまだにすっきりしていません。風邪をきっかけに、順調であった減量が進まず、この1か月はほぼ横ばいの状態です。



これは大変なことになりました。このままの状態を続ければ、1ヵ月先の結果はさらに悪いことになるでしょう。この1ヶ月の生活習慣を反省し、対策を強化しなければなりません。

経営コンサルタントとして、経営改善のお手伝いをさせて頂いていますが、経営の状況を把握するためには、色々な面から検討していきませんが、今回は事業主勘定について考えてみましょう。



複式簿記を記帳されている経営であれば、貸借対照表を作成することができます。その中に、「事業主貸」とか「事業主借」の欄があります。

事業主は給与は貰えませんので、経営体の財布から、生活費を引き出すこととなります(事業主貸)。また、逆に、事業資金が不足した場合は、個人のお金から運転資金を充当することもあります(事業主借)。

通常の経営であれば、「事業主貸」が「事業主借」よりも多く、その差が事業主によって経営から持ち出された金額であり、大まかに言って、これが生活費になります。

基本的には、この経営体から持ち出された金額は所得金額よりも少ないのが普通です。

<b>【資産】</b>          <b>事業主貸</b>	<b>【負債】</b>     <b>事業主借</b>  <b>【資本】</b> 元入金 所得金額
----------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------

$$\text{期首の元入金} = \text{前年末の元入金} + \text{所得金額} + \text{事業主借} - \text{事業主貸}$$

例えば、所得金額が600万円、前年の元入金が2,000万円、事業主借が300万円、事業主貸が800万円とすると、

$$\text{期首の元入金} = 2,000\text{万円} + 600\text{万円} + 300\text{万円} - 800\text{万円} = 2,100\text{万円}$$

となり、前年より元入金が100万円増加しました。

ところが、「事業主貸」が「事業主借」の差が所得金額より多くなると、元入金は減少してしまうこととなります。所得額は年により変動しますが、このような状態が長く続くと経営は継続が困難になってきますので注意が必要になります。

つまり、所得金額の範囲内で生活費を賄うと言う、ごく当たり前のことでした。

4ヶ月経過後の減量状況 -5.0kg

(成光昭男)